



Harmony

病院で取り組んでいる様々な事業についてご紹介します

周産母子センターについて

周産期医療とは、妊産婦と胎児、さらに生まれてきた新生児を対象とした専門医療を指します。徳島大学病院の周産母子センターは、2004年に旧国立大学病院として全国で初めて総合周産期母子医療センターの承認を受けました。徳島県の周産期医療ネットワークの“最後の砦”として、母体および新生児搬送を24時間体制で受け入れています。

当センターは東病棟3階に位置し、通常病床に加えて MFICU(母体・胎児集中治療室)6床、NICU(新生児集中治療室)9床、GCU(新生児回復期治療室)12床を備えています。産科・小児科のみならず、小児外科、心臓血管外科、形成外科、脳神経外科、眼科、精神科、麻酔科、ゲノム医療センターなどの院内診療部門が連携し、さらに助産師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなど多職種チームによる医療体制を整えることで、妊娠期から出生後まで切れ目のない総合医療を提供しています。

当センターの大きな特徴は、母体と新生児の双方に高度医療を提供できることです。一般的に総合周産期母子医療センターは、児の診療を中心とする小児病院系と、母体を中心とする大学病院系に分かれることが多いなか、当院では大学病院でありながら胎児期の診断から出生後の外科・心臓外科・脳外科手術までを一貫して実施できる体制を備えています。このような体制を持つ施設は四国では徳島大学病院のみであり、全国的にも多くはありません。一貫した診療が可能であることで、胎児診断や新生児治療に関するさまざまな研究成果を発信し続けています。

2023年8月からは妊婦さんの希望による無痛分娩を開始しました。麻酔科医が管理を行う点が大きな特徴で、現在は経産婦を対象に誘発分娩にて実施しています。また、もう一つの特徴である院内助産システム「ひなた」では、助産師が中心となり自然なお産をサポートしつつ、必要時には医師が迅速に連携できる体制を整え、安全性と「主体的なお産」の両立を図っています。

徳島県でも今後さらなる少子化が予想されますが、当センターは無痛分娩、院内助産、メンタルケア、災害時医療など多様なニーズに応えられる周産期医療の拠点として歩み続けてまいります。また、高度医療や研究においては全国・世界へ成果を発信し、周産期医療の発展に貢献し続けるセンターをめざしてまいります。

周産母子センター長 加地 剛



NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係 (bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp) までお寄せください。また「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



近藤病院長補佐(経営担当)に興味や特技について寄稿いただきました

病院長補佐の近藤武です。ご紹介できる趣味や特技はこれと言ってありませんが、知らず知らずのうち長年に渡って続けられているものが二つほどあります。

一つ目はスポーツ観戦です。中でも自分が野球をしていたこともありプロ野球観戦がメインです。私がジャイアンツ、妻がタイガース、子供がオリックスファンと三者三様のため東京ドーム、甲子園、京セラドームと年間ツアーを組んで観戦に行くこともあります。テレビで観るのとは違い生で球場の熱気を感じ応援団と一体化し、また初対面の人と一喜一憂しながら和気あいあいと過ごすことができるのは現地観戦ならではの楽しみです。

二つ目はゴルフです。職場の同僚、大学時代の同級生、高校時代の同級生の三つほどのグループを自分勝手に作り、これもまた年間ツアーを組んで楽しんでます。一緒にラウンドするメンバーは、ほとんど固定されていますが気心を知った仲間なので毎回話題に事欠くことはありません。話題と言っても健康面がほとんどで自身の不健康さを自慢しあっているありさまで。とは言え実体験(運よく一命をとりとめた者など)に基づく話を聞くことができ非常に役立っています。

健康面の他にグルメの話題もあり、おいしい食材を使った食事処の情報を得て後日家族で訪れたりしています。

ゴルフの良いところは野外スポーツなので自然を肌で感じることができます。春の桜花見、秋の紅葉狩りなど、混雑する行楽地に長時間かけて行かなくても、手軽に四季を堪能することができます。

これまで、長年ストレスを抱えながら仕事に追われる日々でしたが、健康寿命を考える年齢となり来年と先延ばしせずに、今できることは今やろうという気持ちで日々を過ごしています。

病院長補佐(経営担当) 近藤 武

アカデミア推進特任助教についてご紹介します



脳神経内科 花田 健太

この度、アカデミア推進特任助教を拝命しました。私は自治医大を卒業後、義務年限として海部病院や上那賀病院で地域医療に従事し、内科全般領域を幅広く診療してまいりました。

診療の合間に経験した症例や研究をまとめ、論文執筆にも取り組んできました。

現在は大学で脳神経内科医として勤務しています。研究と臨床の両面で得られる学びを糧に、今後も一層研鑽を重ねてまいります。



泌尿器科 塩崎 啓登

徳島大学泌尿器科 塩崎啓登です。令和7年10月よりアカデミア推進特任助教を拝命いたしました。このような機会をいただき、関係各位に心より御礼申し上げます。

ロボット支援手術および尿路結石治療に関する研究に加え、CST (Cadaver Surgical Training)を用いた手術トレーニングの開発と教育、さらに泌尿器科手術における職業被曝の評価と低減に関する研究に取り組んでおります。

臨床・研究・教育を通じ、安全で質の高い医療に貢献していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



血液内科 堀 太貴

令和7年10月から、徳島大学病院アカデミア推進特任助教として採用いただきました血液・代謝内分分泌内科の堀太貴と申します。

地域特別枠の医師として大学病院外の業務が主でありましたので、これまでは地域医療の現場での臨床研究を行って参りました。今後は血液内科医としての専門性を身につけつつ、大学病院ならではの研究や地域医療との連携を考えていきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

**血液内科 特任助教 堀 太貴**

今年度から徳島大学病院血液・代謝内分泌内科の一員として働いている堀太貴と申します。地域特別卒の医師として大学病院外の業務が主でありましたので、5年ぶりに皆様にお世話になることとなります。これまでは地域医療の現場で一般内科診療を中心にしていたのですが、今後は血液内科医としての専門性を身につけていきたいと思ひます。総合力を武器に皆様のお役にたてるよう尽力いたします。

趣味はソフトテニスやゴルフです。週に1回程度の練習を行っておりますがなかなか上手くなりません。どちらもお相手をしていただける仲間を募集しています。

研究や教育に関しても、積極的に取り組んでいきたいと考えています。至らぬ点も多いかと存じますが、何卒よろしくお願ひいたします。

**看護部(手術室) 看護師 大和 孟主**

令和7年4月より徳島大学病院手術部で勤務しています、看護師の大和孟主と申します。

手術部で、麻酔による患者さんへの身体的影響が最小になるよう、器械出し、外回り業務に務めています。入職してから半年程が経過し、少しずつ職場に慣れてきました。まだまだ分からないこと

がたくさんあるので、先輩からの指導や勉強会を通して知識を習得し、術中の患者さんに安心して安全な手術を提供できるよう努めていきたいと思っています。

休日はジムに行くことや旅行に行くことでリフレッシュしています。今後も手術室看護師として、患者さんに関わる多くの職種と連携を取り合っていきたいと思ひます。

**歯科放射線科 助教 近藤 智之**

令和7年度より歯科放射線科で勤務しております、近藤智之と申します。岡山県出身で、学部・研修医・大学院の期間を徳島大学歯学部で過ごしました。その後、他大学歯学部や徳島大学医学部での勤務を経て、数年ぶりに母校の歯科医療に携わることとなり、嬉しさと同時に

身の引き締まる思ひです。

大学卒業後は主に病理診断や基礎研究に従事し、現在は歯科放射線科にて画像診断・読影業務を担当しております。いずれも“縁の下での力持ち”のような役割で、患者さんと直接お会いする機会は多くありませんが、非常にやりがいを感じながら充実した日々を過ごしています。

休日は、妻と子どもと一緒に公園で体を動かすことを楽しみにしていますが、子どものパワーに押され気味で、もう少し体力をつけねばと痛感しているところです。

まだまだ未熟な点も多いですが、今後も研鑽を積んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

**経理調達課調達係****事務員 池田 裕香**

令和7年4月より経理調達課調達係に採用となりました、池田裕香と申します。

調達係は、病院の物品及び役務の契約・資産管理等を担当している係です。

私は、病院で使用する機器や用具等の契約と支払い処理を担当しています。4月から社会人になったばかりで戸惑うこ

も多くありますが、先輩方から優しく丁寧に指導いただき、できることが増えるにつれ、やりがいを感じております。

休日は友人と旅行に行ったり、ペットの柴犬に癒やされたりして気分転換を図っています。

全ての業務において学ぶことがたくさんあり、大変ではありますが、少しでも早く確実に仕事をこなせるように日々精進していきます。まだまだ至らない点も多くありますが、事務員として成長していけるように努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

**栄養部 栄養士 村上 遥音**

令和7年4月に栄養部に入職いたしました、村上遥音と申します。昨年度に徳島大学大学院博士前期課程を修了いたしました。

現在、栄養部では栄養指導などの業務のほか、病棟担当栄養士として入院患者様の栄養管理を行って

おります。特別な食事制限を必要とする方や、食欲不振により食事を食べられない方に対して食事調整をするほか、栄養状態を良好に保てるような食事内容の提案をしております。食事内容でお困りの患者様がいらっしやいましたら、お気軽に栄養部までお問い合わせください。

入職してからは信頼のできる先輩方から熱心なご指導を受け、日々の業務に励むことができております。まだまだ未熟ではありますが、患者様のお役にたてるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

TOPIC**徳島大学病院 公式SNS 随時更新中！**

令和7年4月から、徳島大学病院の公式Instagram、公式Facebookがスタートしました。

各診療科の先生方のメディア出演情報や、AI電話・会計アプリの導入、院内イベントなど、患者さんの役に立つ情報などを随時更新しています。また、講演会や研修会の様子など、病院の雰囲気やスタッフの方々の姿勢を感じてもらえるような発信を心がけています。

これからも当院の取り組みをたくさん発信していきますので、ぜひご覧ください。

フォロー、いいね
よろしくお願いします

